

市町村名	うるま市						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	産業基盤整備推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-ア	
担当部署名	企画部 プロジェクト推進1課	事業実施(予定)年度	平成30~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の戦略的展開		
事業内容	企業の工場用地の確保に向けた産業基盤整備計画を策定し、工場用地の確保を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R7年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)
		(a)当初予算額	20,000	20,000	20,000	47,608	0
		(b)予算現額	20,000	20,000	22,662	106,502	0
		(c)増減額(b-a)	0	0	2,662	58,894	0
		(d)繰越額				0	106,502
		A.計(b+d)	20,000	20,000	22,662	106,502	106,502
		B.執行済額	19,958	19,987	22,616	0	106,458
		うち交付金充当額	15,966	15,990	18,092	0	85,166
		次年度繰越額	0	0	0	106,502	0
		執行率(%) (B/A)	99.8%	99.9%	99.8%	0.0%	99.96%
予算の状況の説明	事業の全体スケジュールの見直しにより、一部業務を前倒しするため、58,894千円の増額をした。また、地権者の合意形成が遅れたことにより、基本設計の細部調整等がおこなえず、令和3年度内の業務完了が困難となったため、委託費全額を令和4年度繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	産業基盤整備事業設計調査の実施(全体基本設計、現地測量調査、地質調査、整備事業計画書の作成、住民合意形成)		目標	基礎調査の実施	基礎調査の実施	可能性調査の実施	設計調査の実施
			実績	基礎調査の実施	基礎調査の実施	可能性調査の実施	設計調査の実施
			目標				
			実績				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 産業基盤整備事業実施に向けた全体基本設計及び諸施設の基本設計の実施 基本設計に伴う現地測量及び地質調査の実施 産業基盤整備事業実施に向けた事業計画書の案の作成を実施 地権者との個別相談会及び意見交換会を実施し、土地活用及び事業への意向調査を実施 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R7年度)
	産業基盤整備事業の全体基本設計を完了		目標 ()	(基礎調査の完了)	(可能性調査の完了)	(設計調査の完了)	(先行街区における新規雇用者数 450人)
			実績	基礎調査の完了	可能性調査の完了	設計調査の完了	
	進捗状況説明	産業基盤整備事業計画実施計画に基づき、全体基本設計及び諸施設の基本設計を実施した。また、基本設計に伴う現地測量及び地質調査を実施し、事業地の条件を整理した上で産業基盤整備事業の事業計画(案)の作成を行った。					

市町村名		うるま市					
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③		めんそーれうるま! キャンプ・合宿事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-2-イ	
	担当部署名	経済産業部 観光振興課		事業実施(予定)年度	令和元年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-1
事業内容		令和元年度に設立したうるま市スポーツコンベンション推進協議会を主体として、プロスポーツチームや実業団等のアマチュアスポーツ団体に対して、市が保有する施設等のプロモーションをし、合宿・大会等の誘致を図る。					
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
		(a)当初予算額	10,000	10,000	10,000		
	(b)予算現額	15,410	11,175	250,298			
	(c)増減額(b-a)	5,410	1,175	240,298	0	0	
	(d)繰越額				147,538		
	A.計(b+d)	15,410	11,175	250,298	147,538	0	
	B.執行済額	15,026	10,862	101,692	147,538		
	うち交付金充当額	12,021	8,699	81,353	118,031		
	次年度繰越額			148,606	0		
	執行率(%) (B/A)	97.5%	97.2%	40.6%	100.0%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		R3年度からの繰越額については、全額適切に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	
	・推進協議会の開催	目標	(2回)	(2回)	(2回)	()	
		実績	2回	2回	2回		
	・スポーツ合宿誘致活動	目標	(1件)	(11件)	(11件)	()	
		実績	3件	6件	3件		
	・事業効果測定	目標			()	(事業効果の測定の完了)	
		実績				事業効果の測定の完了	
	・クラブハウス建設工事の実施	目標			()	(クラブハウス建設の実施)	
		実績				クラブハウス建設の実施	
・サッカーコート2面目の芝整備の実施	目標			(サッカーコート2面目の芝整備完了)	(サッカーコート2面目の芝整備の実施)		
	実績				サッカーコート2面目の芝整備実施		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> うるま市スポーツコンベンション推進協議会を2回開催した。 受託者提案による誘致活動を9件行ったが新型コロナウイルス感染症の影響もあり、キャンプ・合宿の受入実績は、3件となった。 クラブハウス建設工事については、R4年度へ繰越となり、R4.8月に工事完了した。 サッカーコート2面目の芝整備を実施し、R4.3月に整備を完了した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・キャンプ・合宿件数	目標	()	(1件)	(11件)	(11件)	()
		実績		3件	6件	3件	
	・クラブハウス建設の完了	目標	()	()	()	(クラブハウス建設の完了)	()
		実績				クラブハウス建設の完了	
	・サッカーコート2面目の芝整備完了	目標	()	()	()	(芝整備完了)	()
実績					芝整備完了		
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> (R3年度)キャンプ受入実績のある韓国プロ球団3球団と新規誘致で台湾プロ球団1球団の受入を想定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、春季キャンプ開催は見送ることになった。また、受け入れた全チームにおいて、『市内への宿泊施設利用』達成した。 (R4年度)前年度より繰越となったクラブハウス建設工事を完了した。 (R3年度)サッカーコート2面目の整備を完了した。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、キャンプ・合宿受入件数が前年度より減少した。また、市内の宿泊施設も新型コロナウイルス感染症の療養施設として稼働し、宿泊施設の確保・調整に苦慮した。 ・具志川多種目球技場クラブハウスの建設工事の影響により、サッカーキャンプを受け入れることができなかった。 ・海外からの渡航制限もあり、日本プロ球団以外のキャンプ・合宿の受入はなかった。 ・事業を推進するにあたり、経済波及効果が宿泊施設に集中する傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の老朽化が引き続き課題となっており、キャンプ・合宿の受入件数増加に向けて、引き続き修繕・機能強化を実施する。 ・宿泊施設と連携を密にとり、情報収集を行う。

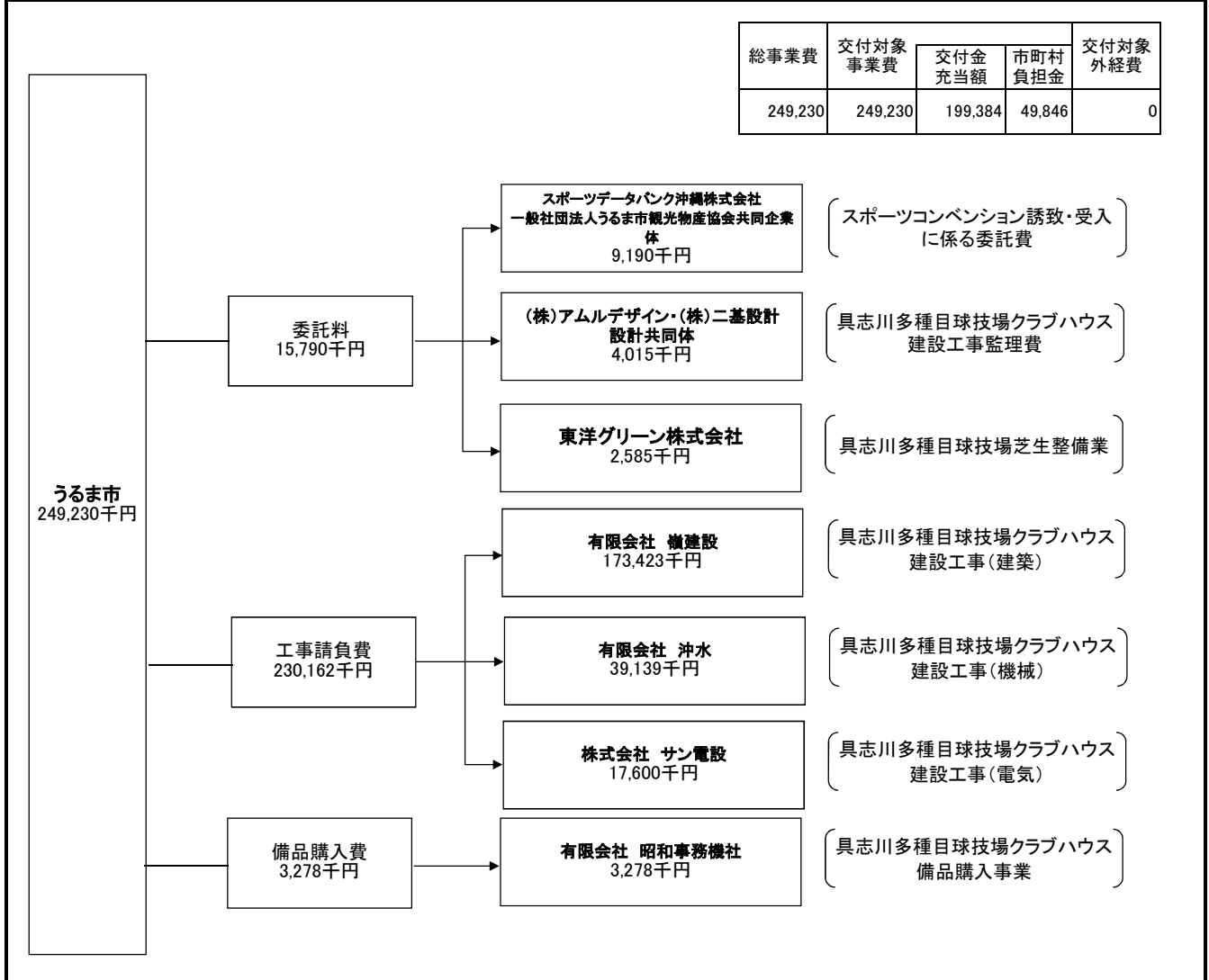
今後の取り組み方針

・韓国等のプロ球団については、コロナ禍以前の実績もあり定着化が進んでいるが、日本プロ球団については、単年度事毎のキャンプ計画になっているため、複数年契約を行う等球団側からの確約を目指す。

・アフターコロナに向けて、チーム関係者とキャンプ・合宿の再開時期について、綿密に連携をとり、キャンプ・合宿受入件数をコロナ禍以前の水準に戻す。

・次年度のキャンプ・合宿に向け、経済波及効果を拡大するために『うるま市スポーツコンベンション推進協議会』を中心に、出店や交通関連等事業者・通り会等の地域の経済団体と連携を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



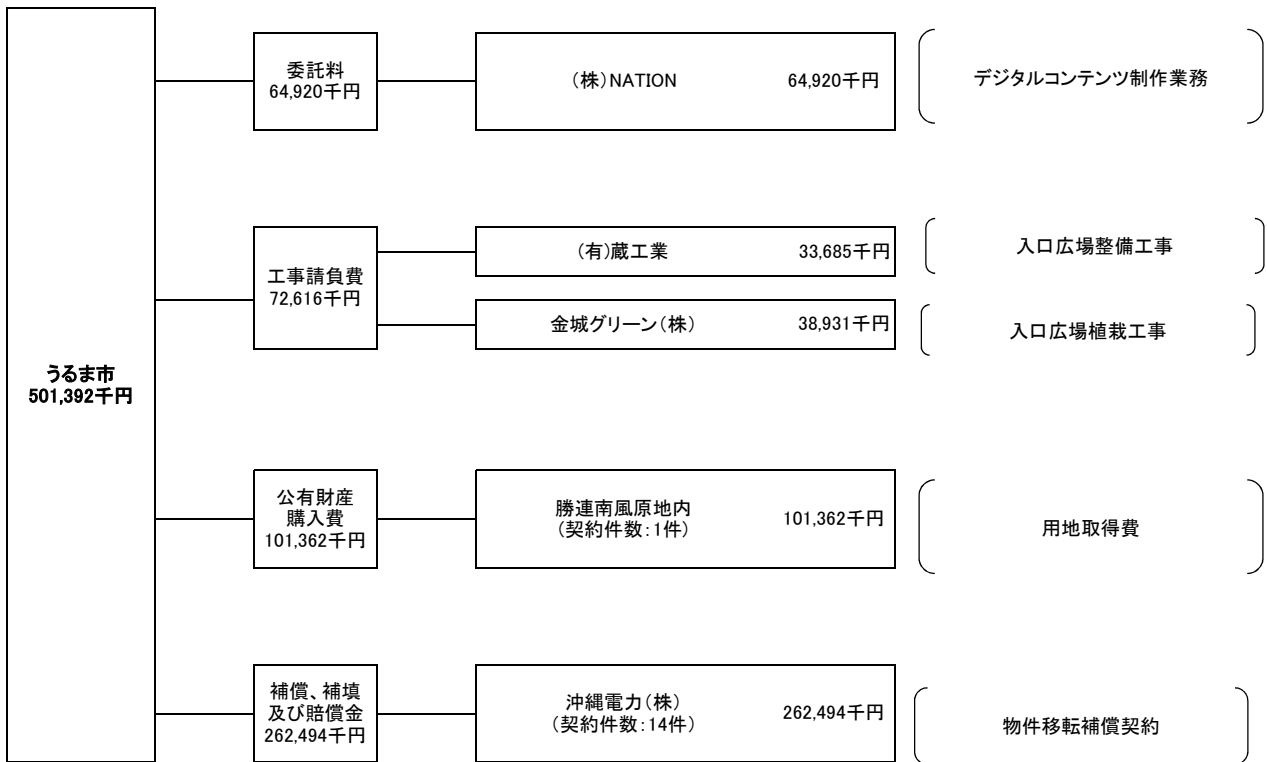
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札等により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、不用はほとんど生じておらず、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市							
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4	勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	企画部プロジェクト推進2課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり		
事業内容	世界遺産として登録されている勝連城跡の周辺に体験・交流を含めた複合的な文化観光拠点施設を整備し、観光客の誘客を図る。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
		(a)当初予算額	1,462,976		851,790		0	
		(b)予算現額	1,417,103		851,790		0	
		(c)増減額(b-a)	▲45,873	0	0	0	0	
		(d)繰越額		324,890	0	745,798	0	
		A.計(b+d)	1,417,103	324,890	851,790	745,798	0	
		B.執行済額	1,148,857	268,246	105,992	395,401	0	
		うち交付金充当額	919,085	214,596	84,793	316,321	0	
		次年度繰越額	1,391,866		745,798		0	
		執行率(%) (B/A)	81.1%	82.6%	12.4%	53.0%		
予算の状況の説明	・R3年度繰越事業について、工事2件、物件補償13件、用地買収2件を実施 ・物件補償については、変電所等の移転補償であったが、補償契約締結後において、出来高精算、減耗額や処分利益を控除したことから減額変更となり不用額が生じた。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況						
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		委託業務の実施	目標		歴史文化施設展示制作業務の実施	デジタルコンテンツ制作業務の実施		
			実績		歴史文化施設展示制作業務の実施	デジタルコンテンツ制作業務の実施		
		整備工事の実施	目標	歴史文化施設工事の実施		入口広場整備、植栽工事の実施		
			実績	歴史文化施設工事の実施		入口広場整備、植栽工事の実施		
		物件補償の実施	目標	物件補償の実施	物件補償の実施	物件補償の実施		
			実績	物件補償の実施	物件補償の実施	物件補償の実施		
		用地取得の実施	目標	用地取得の実施	用地取得の実施	用地取得の実施		
			実績	用地取得の実施	用地取得の実施	用地取得の実施		
達成状況説明	・R3年度繰越においては、入口広場整備工事、植栽工事、物件補償及び用地取得を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R6年度)	
		・入口広場整備工事の完了 ・入口広場植栽工事の完了 ・用地取得の完了 ・物件補償の完了	目標	()	(完了)	(完了)	(完了)	()
			実績		完了	完了		
		【参考指標】 ・年間入場者数25万人	目標	()	()	()	(25万人)	(30万人)
			実績		6.8万人	6.2万人	8.8万人	
		進捗状況説明	・R3年度繰越においては、入口広場整備工事、植栽工事、物件補償及び用地取得を完了した。 ・拠点整備事業が進捗し、観光客が入ってきてはいるが、コロナ禍の影響もあり、目標数値にはまだまだ届いていない。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標はコロナ禍前に設定しており、コロナ禍の影響を受け入場者数が想定以上に減少し、当初の目標数値には及ばない状況となった。 ・R3.10にオープンしたあまわりパーク(歴史文化施設、観光ターミナル)について、目標値達成の為にコロナ禍終息後に向けた誘客についての取組が必要となる。 ・将来的な指定管理者による管理を想定した運用の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者の視点や意見を参考にして整備工事への反映を検討する。 ・誘客事業を実施する場合については、来場者増加に繋がるニーズ等を把握する。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後は樹木剪定業務を予定しており、城壁のライトアップ計画と密な調整を行い、城壁周辺の景観形成を意識して実施する。 ・更なる事業整備効果を発現させる為、来場者増加に繋がる誘客事業を実施する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
501,392	501,392	401,114	100,278	0



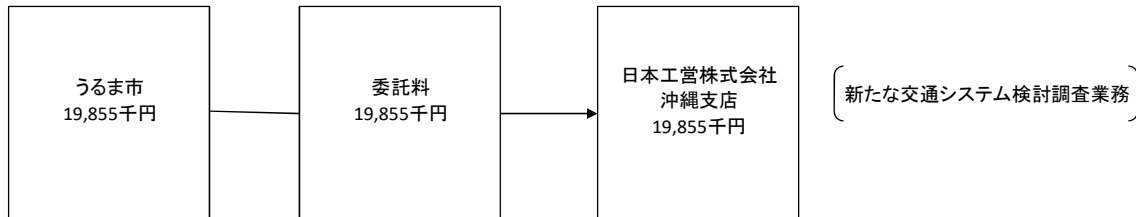
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、内容に即した競争入札や随意契約により適切に選定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○補償費については、物件除去後に確定する減耗額や処分利益の控除により不用が発生したものの、予算規模は適正であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	うるま市						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	12	新たな交通システム検討調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-ウ		
担当部署名	都市建設部都市政策課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	陸上交通基盤の整備 Ⅲ-11-(2)		
事業内容	公共施設間連絡バス現行ルートの検証及び見直し、既存バスや離島航路との結節、市民ニーズを整理し、地域特性に応じた運行形態による実証実験を踏まえ、新たな公共交通システムの導入に向けた検討調査を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R3年度(繰越)				
	予算の状況	(a)当初予算額	20240	0			
		(b)予算現額	20240	0			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0	19,855			
	A.計(b+d)		20,240	19,855	0	0	
	B.執行済額		0	19855			
	うち交付金充当額		0	15884			
	次年度繰越額		19855	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		令和3年度に日本工営株式会社沖縄支店と委託契約を締結したが、繰越手続きをして契約期間を翌年度まで延長し、令和4年度に完了した。不用額308千円は契約残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
	新たな交通システムの検討及び調査	目標	(完了)				
		実績	完了				
		目標					
		実績					
	達成状況説明	・既存公共施設間連絡バスのコミュニティ交通移行に向けた実証運行やデマンド型交通の導入可能性などの調査検討を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度		R5年度	
	新たな交通システム検討調査報告書としてとりまとめる。	目標	()	(完了)	()	()	年間利用客数 22,500人
		実績		完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	公共施設間連絡バスのコミュニティバス化に向けた実証運行を行い、利用者数の調査やアンケートを行い、今後の方針等を報告書に取りまとめた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・現行のルートを検証と見直しを行い、既存公共交通との相互乗継を意識した既存バスや離島航路との結節、市民ニーズの整理を行い、地域特性に応じた運行形態になるように留意した。</p>	<p>・コミュニティ交通移行に向けた運行形態での実証初年度であることから、引き続き利用状況のモニタリングや新たな課題の掘起しを行いながら、本格導入に向けた検討が必要。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・公共施設間連絡バスの今年度実証運行結果を踏まえ、新たな停留所の設置や廃止、ルートの変更を実施し、更なる課題やニーズを整理していく。 ・当市市域には離島や島しょ地域が存在することから、離島・島しょ地域における交通体系の構築を検討していく。</p>		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
19,855	19,855	15,884	3,971	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は簡易公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 ○予算規模について、不用はほとんど生じておらず、適正であった。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	